

1 教育研究計画

(1) 研究主題

本校研究主題

論理的に考え、表現することができる児童の育成

～問題発見・解決学習とICTの活用を通して～

(2) 主題設定の理由

新学習指導要領の改訂では、充実すべき重要事項の第1として「主体的・対話的で深い学び」が挙げられ、アクティブラーニングによる授業改善が求められている。背景としては、情報化・グローバル化といった社会的変化が挙げられる。次世代を担っていく児童には、変化に対して受け身ではなく、主体的に関わり、学んだことを使ってよりよい社会を作っていく「学びに向かう力」が求められている。

そんな中、本校の児童に目を向けてみると、昨年度、自分の考えをもたせ、それを説明に繋げるために、考え方の道筋にポイントを置いた授業改善を行ってきた。それにより、「自分の考えをノートにまとめられる」「発表できる」という児童が増えてきた。

しかし、昨年度の取り組みを終えて、以下の点に課題があることが明らかになった。

■児童アンケート■

算数の授業で、友達に式や図の説明ができる。 76.0%

算数の授業で、友達の意見と繋げて発表できる。 64.3%

■学びの変革アンケート(4・5・6年)■

授業では、情報を比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して、何が分かるのかを考えています。74.5%

つまり、

- ① 自分の考え(図や式)を説明する力が不足している。
- ② 問題文と図や式を結びつける力が不足している。
- ③ 友達の意見と自分の考えを比べながら聞く力が不足している

以上の3点である。これらの課題を解決するために、今年度は、特に算数科において、児童一人一人が自分の考えをしっかりとつこと、その際に「自分の考えの根拠を問題文や図に返して考えていくこと」「数字にこだわること」で説明する力をつけていく。そして、話型の活用と振り返りで友達からの学びの視点を取り入れ、友達の発表内容に目を向けさせていくことをねらいとして本主題を設定した。

主題にせまっていくために、問題文、図、式を繋げる手立てを明確にして取り組んでいく。また、ICTの活用にも取り組む。そして、振り返りで友達からの学びや考えの変容等が現れる授業作りを進めていく。

(3) 校内研修計画

<年間研修計画予定>

1人1授業提案

月	日	曜	研究内容	講師
4	4	木	研究推進の方向性について	
	11	木		
	18	木	指導案の提案	
	25	木		
5	9	木	事前研（坂本静）	八島先生
	15	水	授業研（坂本静 中堅研）	
	23	木	事前研（特別支援学級）	26日（日） 運動会
	29	水	事前研（2年・6年）	
	30	木	※市教研	
6	6	木	授業研（すみれ吉積・たんぽぽ早間・ひまわり太田）	八島先生
	12	水	授業研（2年篠崎 6年木村）	
	20	木	事前研（1年・5年2組）	
	27	木		
7	4	木	授業研（1年中塚 5年2組西山）	
	11	木	1学期研修のまとめ	
	18	木	夏季休業中の研修について・公開授業について	
	25	木		
8			10月公開研究会&2月ITC（5年1組） 指導案検討	
9	5	木	} シュミレーション ※市教研	
	12	木		
	19	木		
	26	木		
10	15	火	前日準備	八島先生
	16	水	授業公開	
	17	木	研究会まとめ	
11			24（日）学習発表会	
12	5	木	研究の反省・課題	
1	9	木	事前研（3年・4年） 授業研（3年長尾 3年目研 4年西川 6年目研）	
	16	木		
	23	木		
	30	木		
2	6	木	シュミレーション	
	14	金	ICT活用指導者研究会授業提案（5年1組坂本圭）	
	20	木	来年度研究に向けての協議	
	27	木		

